

主催：名古屋市発達障害者支援センターりんくす名古屋 共催：JDD ネット愛知



映画上映会

はざまに生きる、春

4月2日は 「世界自閉症啓発デー」です

自閉症のことを知るための日を作ろうと、世界の国の代表が国連の会議で毎年4月2日を「世界自閉症啓発デー」に決めました。

癒し・希望・おだやかを表す「青」をシンボルカラーに、世界各地でイベントやライトアップなどが行われるようになりました。

自閉症の人たちが生活しやすい社会は、誰にとっても生きやすい社会につながります。

そこで日本では4月2日から4月8日の1週間を、自閉症をはじめとする発達障害のことをみんなに知ってもらうための発達障害啓発週間としています。

発達障害とは

生まれつきの脳機能の障害です。その原因は本人の甘えや育て方ではありません。発達障害には、自閉スペクトラム症(ASD)、注意欠如・多動症(ADHD)、限局性学習症(SLD)などがあります。

詳しくは

発達障害情報・支援センター

(国立障害者リハビリテーションセンター)

<http://www.rehab.go.jp/ddis/>

発達障害情報

Q 検索



©「はざまに生きる、春」製作委員会



あらすじ

出版社で雑誌編集者として働く小向春は、仕事も恋もうまくいかない日々を送っていた。

ある日、春は取材で「青い絵しか描かない」ことで有名な画家・屋内透と出会う。

感情を隠すことなく思ったことをストレートに口にし嘘がつけない屋内に、戸惑いながらも惹かれていく春。

屋内が持つその純粋さは「発達障害」の特性でもあった。人の顔色を見て空気ばかり読んできた春にとって、そんな屋内の姿はとても新鮮で魅力的に映るのだった。

少しずつ屋内に気持ちが傾いていく春だったが、「他者の気持ちを汲み取る」ことが苦手な屋内にふりまわされ、思い悩む。さまざまな“はざま”で揺れる春は、初めて自分の心に正直に決断する一。

映画コンテスト“感動シネマアワード”にて大賞を受賞し、制作が決定した本作。主役屋内透を演じるのは、数々の映画祭でその実力を認められた俳優・宮沢氷魚。「発達障害」の屋内を演じるにあたり、監督と共に発達障害の人々への取材を重ね、入念な役作りに挑みました。

屋内に恋する小向春には、2020年に主演での映画デビュー後数々の話題作の出演が続く小西桜子が、優柔不断で自己評価の低かったヒロインが羽ばたいていく様子をみずみずしく演じます。

問合せ先

名古屋市発達障害者支援センター りんくす名古屋

TEL:052-757-6140

〒466-0858 名古屋市昭和区折戸町4-16

※悪天候等により上映会が中止になる場合があります。「りんくす名古屋」ホームページでご確認下さい。



りんくす名古屋ウェブサイト